



**ROCK PAINT**

111ライン

**ビルロック®II**

水性一液架橋型シリコン樹脂塗料

**環境対応  
高耐候性  
低汚染性  
上質な仕上がり**

ホルムアルデヒド放散等級

**F☆☆☆☆**

居室内で無制限に使用できます



## メンテナンスサイクルを伸ばし、 建物の長寿命化に貢献。

最近、住まいの外観が気になってきたのですが…

マンションなどの集合住宅や戸建住宅の外壁の多くは、塗膜で覆われており、太陽光や風雨、温度変化などから建物をまもるため、様々なダメージにさらされ続けています。塗料は色彩、つや、模様などを塗り替えの方法により、比較的簡単に美しく変えたり、建物を長持ちさせたりすることができるのです。

でも、そのままにしていると、住みやすさが失われるだけでなく、建物の大切な部分(コンクリートなどの躯体)も修理しなければならず、費用が増大するうえ、建物の寿命にも影響を与えてしまいます。建物の資産価値を上げるためにも、塗り替えに適した塗料を選択します。

ビルロックIIは、長期にわたり美しく保護することができます。長く保護するということは、メンテナンスサイクルが長くなりますので、結果的に費用の節約にもつながります。また水性で人にやさしく、環境にも配慮していますから、これからの時代に最も適した塗料です。

### 用 途

- コンクリート、モルタル、ALCパネル、スレート板、サイディングボード、鉄部、硬質塩ビ(雨樋など)の建築物内外部の新設及び塗り替え。
  - 可とう形改修塗材、複層仕上塗材の上塗り、各種旧塗膜の塗り替え。
- ※鉄部には、下塗りにサビ止めペイントが必要です。



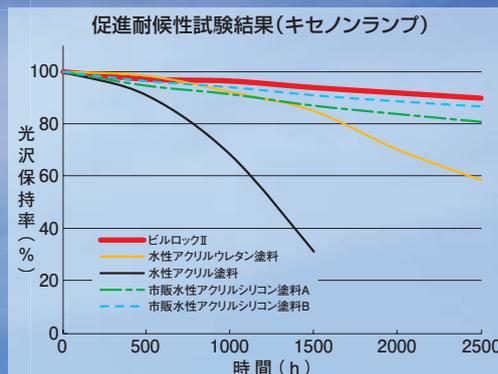
## 特長

### 1 人にやさしい、環境対応

下塗りに水性シーラーなどを使用することにより、オール水系の高耐候性仕様・改修が可能です。また消防法では非危険物、ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆のうえ、VOC(揮発性有機化合物)の発生も低く抑えられており、溶剤型塗料に比べて、においが気にならないため、屋内外を問わず、生活環境の改善に最適です。

### 2 高耐候性

肌にダメージを与える紫外線。ビル、マンションなどの外壁塗装面も同様、塗膜の劣化は、紫外線が主要因です。ビルロックIIは、この紫外線に対してすぐれた耐久性を持ち、長期にわたり建物を保護し、高耐候性を発揮します。

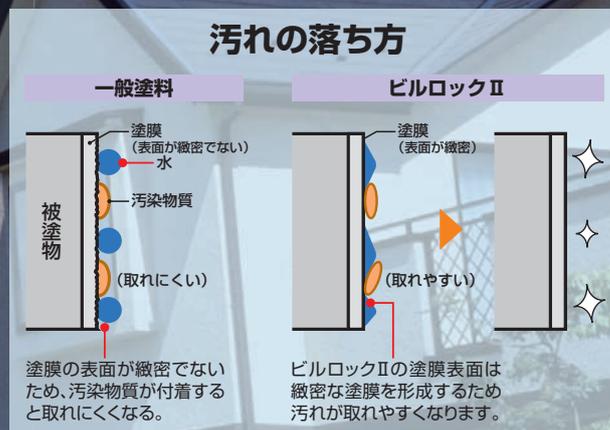


### 3 多目的用途

コンクリート、モルタル面はもちろん、各種下塗り塗料、下地調整材を選択することにより、サイディングボードなどの建材ボードをはじめ、鉄部、硬質塩ビなど、新設のみならず塗り替え塗装に幅広く適用できます。

### 4 低汚染性

美しい外観を維持するためには、空気中の汚染物質を寄せ付けず、汚れが目立たないことが重要です。ビルロックIIは緻密な塗膜を形成することにより、塗装直後の美しい外観を維持します。



### 5 良好な塗装作業性、すぐれた仕上がり

エマルジョン樹脂の特性を生かしたレオロジーコントロール技術により塗装作業性にすぐれています。塗り易いののにたれにくいので、ハケ・ローラーなどの塗装作業が容易になりました。塗膜表面の平滑性にすぐれ、従来の水性塗料より上質な仕上がり感が得られます。

### 6 防藻・防カビ性

すぐれた防藻・防カビ剤の配合により、藻やカビの発生を抑えます。

## 使用方法

- 希釈割合(重量比)：水で希釈してください。上塗りの希釈割合は次の通りです。  
ハケ、ローラーの場合：5～15%  
エアレスの場合：10～20%
- 乾燥時間：気温、湿度、膜厚、素地の状態などにより異なりますが、次の表を参考にしてください。

温度	10℃	20℃	30℃
乾燥時間	3時間	2時間	1時間

- 標準塗付量：0.11～0.13kg/㎡・回（ハケ、ローラー塗装の場合）
- 標準塗布面積：115～136㎡/15kg・回
- 使用上の注意：
  - ・使用する前に塗料を底から十分にかき混ぜて、全体を均一な状態にしてください。
  - ・ハケ、ローラーなどの塗装用具は、水性用を使用し、用具や手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。
  - ・防水形複層塗材Eの上塗りとして使用できません。

## 種類と容量

品名	容量
ビルロックII ホワイト	15kg
ビルロックII 5分ツヤホワイト	15kg
ビルロックII 3分ツヤホワイト	15kg

## 性能試験比較

項目	ビルロックII	市販品A※1	市販品B※1	市販品C※1
鏡面光沢度(60°)	82	73	86	82
仕上がり性	○	○	○	○
作業性	○	○	△	○
低温安定性	○	○	○	○
隠ぺい率	0.98	0.98	0.97	0.97
耐水性	○	○	△	×
耐アルカリ性※2	○	○	△	×

※1 市販品A、B、Cは水性シリコン樹脂塗料を使用。

※2 飽和水酸化カルシウム水溶液に浸漬。

## 物性試験

### ビルロックII ホワイト

試験項目	判定基準	性能	
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一樣になるものとする。	合格	
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。	合格	
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格	
低温安定性(-5℃)	変質しないものとする。	合格	
乾燥時間	標準状態	2時間以内	合格
	5℃	4時間以内	合格
隠ぺい率(%)	95以上	合格	
鏡面光沢度(60度)	70以上	合格	
耐水性	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。	合格	
耐アルカリ性	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする。	合格	
耐洗浄性	1000回の洗浄に耐えるものとする。	合格	
促進耐候性 (キセノンランプ法)	2500時間の試験で光沢保持率が80%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格	
屋外暴露耐候性	12か月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ・はがれ・膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格	

## 標準塗装仕様

### 新設：コンクリート、モルタルなど（複層仕上塗材の上塗りの場合）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
素地調整	エフロッセンス、レイトンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。 (含水率10%以下、pH9.5以下)						
下 塗 り	033-1159 ロックカチオンシーラーマルチ	水	ハケ、ローラー： エアレス： (通常不要)	1	0.09~0.13	—	3時間以上
中 塗 り	032-2124 タイルコートE 中塗り	水	タイルガン：1~3	1	1.5~2.0	—	16時間以上
(ローラー押さえ)	ローラー押さえする場合は、模様吹き後30分以内に、テフロンローラーなどに塗料用シンナーをつけながら軽くおさえる。						
上 塗 り	111ライン ビルロックII 指定色	水	ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	—	2時間以上

注) ●ロックカチオンシーラーマルチはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。  
●中塗りとして、防水形複層塗材E (032-8120ロック弾性タイルコート 中塗り) は使用できません。  
●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

### 新設：一般鉄部（平滑仕上げ）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤サビを念入りに除去する。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、又はSIS St3。 じんあい、水分、油脂分は完全に除去し、塗装しない箇所をマスキングしてください。						
下 塗 り	061ライン 水性サビカット 配合比(重量) 主剤：硬化剤=7：1	水	ハケ、ローラー：0~5 エアレス：5~10	1	0.12~0.15	40	8時間以上 7日以内
上 塗 り	111ライン ビルロックII 指定色	水	ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	30	2時間以上

注) 水性サビカットには、061-5530赤さび色、061-5531グレー色があります。

### 塗り替え：外装材の塗り替え（コンクリート・モルタルなどの下地）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下 塗 り	032-2106 ビニロックエラスティックフィラーⅢ	水	ローラー：2~5 砂骨ローラー：0~2 リジガン、タイルガン：5~10 エアレス：5~10	1	0.5~1.5	—	4時間以上
上 塗 り	111ライン ビルロックII 指定色	水	ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	—	2時間以上

注) ●下塗りには、032-2106の他に032-2105ビニロックエラスティックフィラーがあります。  
●ビニロックエラスティックフィラーⅢを吹き付けする場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによってこととなりますので、あらかじめ試し塗りをし、条件を設定してから塗装してください。

### 塗り替え：窯業系サイディングボードの塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下 塗 り	033-1159 ロックカチオンシーラーマルチ	水	ハケ、ローラー： エアレス： (通常不要)	1	0.09~0.13	—	3時間以上
上 塗 り	111ライン ビルロックII 指定色	水	ハケ、ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	—	2時間以上

注) ●ロックカチオンシーラーマルチはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。  
●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

※旧塗膜は活膜であることが前提です。

## 塗り替え：一般鉄部（平滑仕上げ）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、フクレ部分はワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で除去する(2種ケレン以上)。チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下 塗 り	061ライン 水性サビカット 配合比(重量) 主剤：硬化剤=7：1	水	ハケ、ローラー： 0～5 エアレス： 5～10	1	0.12～0.15	40	8時間以上 7日以内
上 塗 り	111ライン ビルロックⅡ 指定色	水	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	30	2時間以上

注) 水性サビカットには、061-5530赤さび色、061-5531グレー色があります。

## 塗り替え：硬質塩ビ（雨どいなど、平滑仕上げ）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。塗装する面にサンドペーパーP240～P400で研磨による表面荒らしを行う。						
下 塗 り	111ライン ビルロックⅡ 指定色	水	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	1	0.11～0.13	—	2時間以上
上 塗 り	111ライン ビルロックⅡ 指定色	水	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	1	0.11～0.13	—	2時間以上

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。

※旧塗膜は活膜であることが前提です。

## 外装仕上用提案色



※色番号はロックペイントが世界の建築物に使用されている色の中から実用性の高い1021色を選定したカラーワールド®1000色見本帳の番号です。上記24色は、日本の建物によく使われている色です。(色見本は印刷ですから実際の色とは多少異なります。色彩についてはカラーワールド®1000色見本帳にてお確かめください。)

## 関連下塗塗料

品 名	容 量	消防法	品 名	容 量	消防法
ロックカチオンシーラーマルチ	15kg	非	ビニロックエラストックフィラーⅢ	16kg	非
水性サビカット	16kgセット	非	ビニロックエラストックフィラー	18kg	非
ユメロックシーラー	15kgセット	2石	●上記の関連下塗塗料は、すべてF☆☆☆☆です。		

## 施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。(含水率10%以下、pH9.5以下)
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温20℃、湿度65%の場合)
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築シーラーで適切なものを使用して、あらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 防水形複層塗材の上塗り材としては使用できません。
- 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。またフッ素塗料への塗替えには使用できません。
- 改修塗装の場合、素地の種類によっては、塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをおすすめします。
- 高断熱型住居の外壁を塗装する場合、状況により素地の変形、塗膜にふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてきたりすることがあります。状況によってはシーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをすることをおすすめします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- 押出成形板、GRC板などの新設塗装には、下塗り塗料としてユメロックシーラー(二液型)を使用してください。種類によっては密着不良をおこす場合がありますので、試し塗りをすることをお奨めします。
- ビニロックエラストックフィラーを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りをし、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁にしてください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラーの境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分は希釈をやや少なめに塗装してください。
- 作業能率の低下及び塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。乾くと落ちにくくなります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗装回数、塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- ロックカチオンシーラーマルチやユメロックシーラーなどのシーラーを、吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装後、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こしますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がないので、棟など金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- この仕様書は全ての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が溜まる箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合があります。
- 塗色が濃彩色の場合、塗膜を強くこすると色落ちしたり、さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず、塗装回数が増えたりする場合がありますので注意してください。
- 建物の形状や施工部位、周辺の環境などの影響により、低汚染性が十分に発揮できない場合があります。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- 水性サビカット(2液型)は主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し、可使時間内(7時間[20℃]、4時間[30℃])に使用してください。
- 水性サビカット硬化剤は、アミンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ドアパッキンや緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- その他カタログに記載していない素地(ALCなどの多孔質素材、軽量モルタル仕上げ面など)及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜不良となることがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

## ❗ 安全・衛生及び取扱い上の注意

### 【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入るとは避けてください。

### 【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをし、40℃以下で0℃以上の子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は産業廃棄物として、認可業者に処理を委託してください。

### 【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



## ロックペイント株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000  
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX (06)6473-1000  
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304  
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112  
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433  
明石営業所 / 〒674-0094 / 兵庫県明石市二見町西二見駅前3丁目1番地 ☎(078)949-3101 FAX (078)949-3102  
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966  
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：